

## 技術開発事例

# 共同研究 幾何形状測定信頼性向上技術の確立

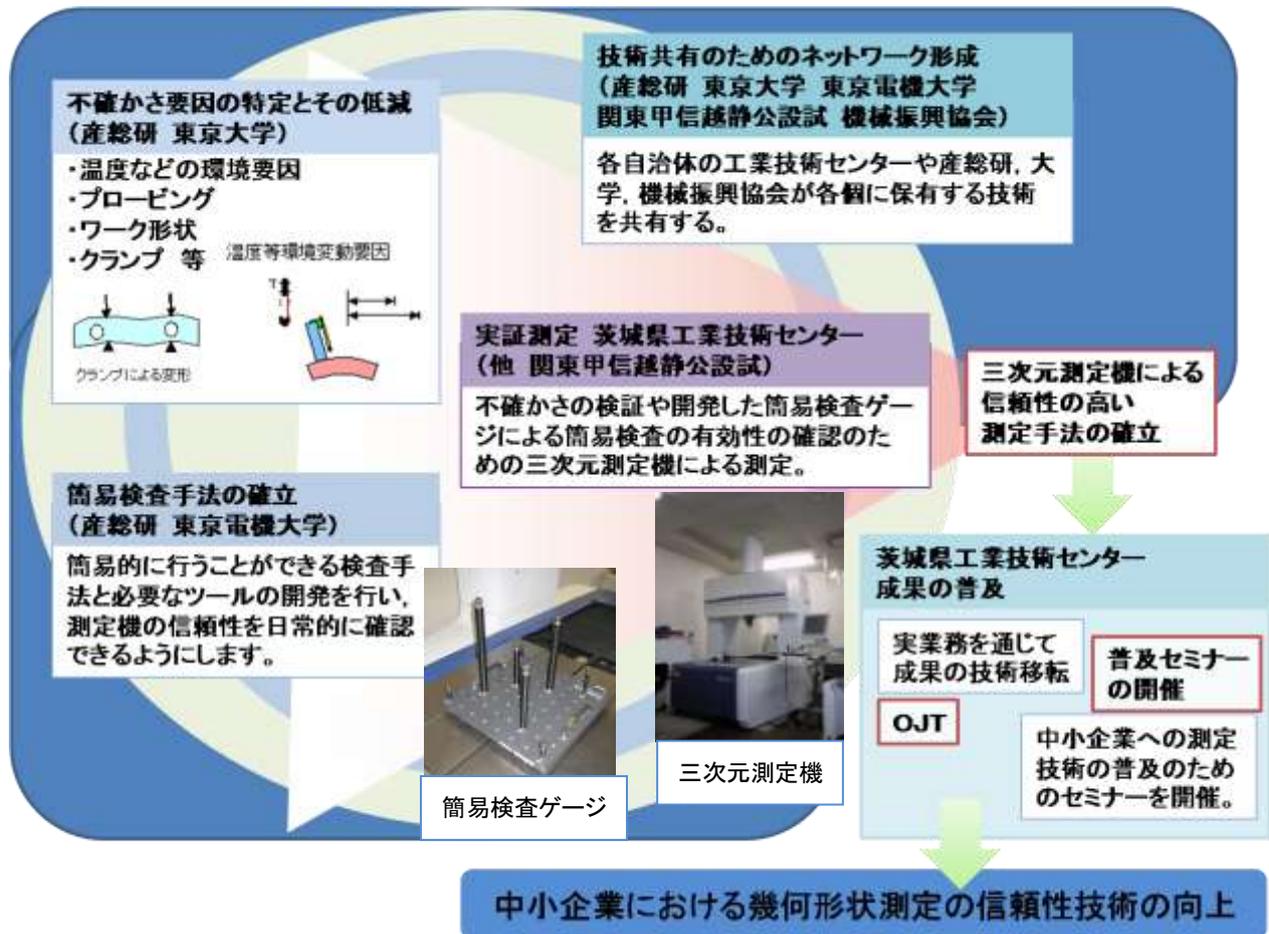
【共同研究先】

産業技術総合研究所，東京電機大学，東京大学，関東甲信越静の公設試

### 【背景】

三次元測定機による幾何形状測定は製品の高精度化や品質保証の高まりから、需要が高まっています。一方、測定結果についての精度保証が十分に行われていたとはいえません。そこで、工業技術センターの三次元測定機による測定技能、測定サービスを高度化し、地域における測定依頼に対する対応力を高めること、さらに蓄積した測定技術を広く普及を図っていくことを目的として共同研究を行いました。

### 【内容】



### 【成果】

1. 開発した簡易検査ゲージの有効性を確認した。
2. 開発した測定技術の普及のためのセミナーを開催した。

今後も引き続き中小企業向けのセミナーを開催を行っていく他、測定業務を通じて成果の普及も行っていく予定です。

基礎となった事業

平成21年度 地域イノベーション創出共同体形成事業  
テーマ名「幾何形状測定信頼性向上技術の確立」

担当部門

技術融合部門

主任 青木 邦知  
技師 山下 宏

tel : 029-293-7482